

臨床柔道整復学Ⅴ		演習	非常勤講師 林 勇磨
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12361302

1. 授業のねらい・概要

本講義では、下肢の脱臼について総合的な知識の習得を目指す。股関節から足部にいたる各脱臼の基礎（分類、症状、合併症）、治療法（整復法、固定法、後療法など）を学習する。併せて下肢の脱臼に関わる人体解剖についても復習する。

2. 授業の進め方

主に PowerPoint および配布資料を用いて講義を行う。必要に応じて画像、動画等を用いて解説する。

3. 授業計画

1. ガイダンス 脱臼総論	9. 足部と足趾の脱臼①
2. 股関節の機能解剖	10. 足部と足趾の脱臼②
3. 股関節脱臼①	11. 下肢の外傷の画像所見 小テスト
4. 股関節脱臼②	12. 下肢の外傷総論（評価、鑑別診断）
5. 膝関節の機能解剖	13. 下肢の外傷総論（指導管理、後療法）
6. 膝蓋骨、膝関節脱臼① 小テスト	14. 下肢の外傷総論（合併症） 小テスト
7. 膝蓋骨、膝関節脱臼②	15. まとめ
8. 足部の機能解剖	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を復習しておく（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業内に小テストを行い、終了後に回答のポイントおよび出題意図を解説する。
試験実施後に問題の解説を記載したプリントを配布する。

6. 授業における学修の到達目標

下肢脱臼の発生メカニズムからそれぞれのタイプ、整復法、症状、合併症などを説明できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

小テスト(30%) 期末試験(70%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

柔道整復学・理論編 改訂第7版，全国柔道整復学校協会監修，南江堂，2022年
柔道整復学・実技編 改訂第2版，全国柔道整復学校協会監修，南江堂，2012年

9. 受講上の留意事項

私語および携帯電話の使用，飲食，帽子の着用は禁止とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は，医療機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。